

# 研究会開催通知

(昭和52年2月15日～3月31日)

研究会	日	時	会場	備考
システム性能評価	2月25日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	前号参照
データ・ベース	3月10日(木)	14:00～17:00	同上	下記参照
イメージ・プロセッシング	3月17日(木)	14:00～17:00	国際電電・研究所	同上
設計自動化	3月17日(木)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ・ マイクロコンピュータ	3月18日(金)	14:00～17:00	同上	同上
計算言語学	3月18日(金)	14:00～17:00	同上	同上
医療情報処理	3月22日(火)	14:00～17:00	同上	同上

## ◆ 第19回データ・ベース研究会 (主査: 西野博二, 代表幹事: 国井利泰)

日時 昭和52年3月10日(木) 午後2時～5時

会場 機械振興会館 6階66号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営1号線大門駅, 都営6号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー, 等々力ー東京駅八重洲口線飯倉1丁目, Tel. (03) 434-8211〕

議題 (1) ファイルの準一連検索構成

上林彌彦, 原 秀幸, 矢島脩三 (京大・工)

〔概要〕 一連検索性を, バッファサイズを考慮して拡張し準一連検索性と名付け, その2項目質問集合に対する最適ファイル構成等を論じる.

(2) 重複を許さない場合の準一連検索性をもつファイルの構成

田中克巳, 上林彌彦, 矢島脩三 (京大・工)

〔概要〕 準一連検索性を有するファイルをレコードの重複なしに構成するグラフ理論的な手法について論じる.

(3) リレーショナルデータベースの最適な正規表分解について

上林彌彦 (京大・工)

〔概要〕 関数従属性が与えられた場合に, 各表に対応する素項を同時に生成することにより最適な正規表分解を行う手法を得たので報告する.

(4) 質問言語のデータベース論理構造からの独立化について

古川康一 (電総研)

〔概要〕 自然言語によるデータベース (DB) の QA システムの実現のために, 質問言語を DB 論理構造から独立させる変換システム DBAP を開発した. その基本的な枠組は Viewo の考えに類似しているが, ここでは新たに条件属性を導入し, その処理を推論過程として定式化した.

- (5) データ・セマンティクスの回帰表現モデル 石田喬也 (三菱電機)  
〔概要〕 セマンティクス記述の基本要素である Entity 概念を、実体、抽象、  
具体の3段階に分けることによる回帰表現モデルの展開を試みる。

## ◆ 第11回 イメージ・プロセッシング研究会

(主査: 尾上守夫, 代表幹事: 長尾 真, 白井良明, 高木幹雄)

- 日 時 昭和52年3月17日(木) 午後2時~5時  
会 場 国際電電研究所 第1会議室  
〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国電: 山手線恵比寿駅, 地下鉄: 日比谷線恵比寿駅下車徒歩5分, Tel. (03) 713-0111〕
- 議 題 (1) テクスチャ解析についての比較研究  
富田文明, 辻 三郎 (阪大・基礎工), 白井良明 (電総研)  
〔概要〕 1970年以後の主な計算機によるテクスチャ解析の方法を述べ、それら  
を比較検討する。
- (2) 相対的類似性の概念に基づいた濃淡画像の領域分割  
横矢直和, 浅野哲夫, 田中幸吉 (阪大・基礎工)  
〔概要〕 環境を考慮して非類似度を計算するという相対的類似性の概念に基づ  
いた濃淡画像の領域分割法を報告する。
- (3) 国際電電研究所紹介  
山本英雄 (国際電電・研究所)  
〔概要〕 テレビジョン高能率符号化方式の研究のためのシミュレーション装  
置として開発した画像処理装置とその使用経験を紹介し、本装置の  
特色は、① 525/60 と 267/60 の両方式を処理できる、② モノク  
ロームの他、RGB, YIQ, NTSC のカラー信号を処理可能、③ ア  
ナログビデオディスクによる最大 30 秒の動画処理ができる、こと  
である。
- (4) 国際電電研究所の見学

## ◆ 第16回 設計自動化研究会 (主査: 元岡 達, 代表幹事: 上田和宏, 林 孝雄)

- 日 時 昭和52年3月17日(木) 午後2時~5時  
会 場 機械振興会館 地下3階2号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) ミニコンを用いたプリント回路基板自動配線システム  
西岡郁夫 (シャープ・中研)  
〔概要〕 ミニコンを用いた2層プリント基板の自動配線システムは CRT デ  
ィスプレイを介した「会話型修正機能」の付加により配線過程の融  
通性・機動性を飛躍的に向上せしめて極めて実用性の高い配線シス  
テムを実現した。
- (2) 実装 CAD 陣野孝光, 桃井茂晴, 原田昭男 (電電・武蔵野通研)  
〔概要〕 実装 CAD は電子装置の最適実装構造の検討手段である。本報告で  
は、配線板寸法の最適化について述べる。
- (3) 機能素子を含む論理回路の並列故障シミュレーション手法

富田恭次 (日電)

〔概要〕 本並列故障シミュレータにおいて開発された種々の機能素子(FFlip-Flop, RAM, ROM, Register File, etc.) の簡単でしかも効果的な並列演算手法とシミュレーション結果を示すとともに本故障シミュレータの採用しているシミュレーション手法について, その概略を紹介する.

#### ◆ 第 17 回 計算機アーキテクチャ・マイクロコンピュータ研究会

(主査: 相磯秀夫, 代表幹事: 所真理雄)

日 時 昭和 52 年 3 月 18 日(金) 午後 2 時~5 時  
会 場 機械振興会館 6 階 65 号室〔所在地は前記参照〕  
議 題 (1) FACOM 230-75 システム

上田 徹, 乾 範男, 内田啓一郎 (富士通)

〔概要〕 マルチプロセッサ, バッファメモリ, 性能測定, Array Processor  
(2) 演算用ならびに制御用に設計されたワンチップ 4 ビットマイクロプロセッサ  
高井 昶, 岩先純一 (日電)

〔概要〕 広範囲の産業分野へマイクロプロセッサが応用されるためには, それぞれの用途の機能を満たし系統的に使い易く, しかも経済性に優れたプロセッサが必要とされる.  $\mu$ COM 42, 43 は演算用, 制御用にそれぞれ専用化することにより, ROM, RAM, I/O を 1 チップに内蔵しこれを実現した. これらプロセッサの 1 チップ化および専用化に焦点を当て, そのアーキテクチャの概要と特徴について述べる.

(3) リレーショナルデータベースシステムのハードウェア化について

渥美幸雄, 佐藤 聖, 小花貞夫, 南部 明,  
高田健治, 所真理雄, 相磯秀夫 (慶大・工)

〔概要〕 リレーショナルデータベースシステムの機能分散型マルチプロセッサ構成による実現法について.

#### ◆ 第 9 回 計算言語学研究会 (主査: 和田 弘, 代表幹事: 西村恕彦)

日 時 昭和 52 年 3 月 18 日(金) 午後 2 時~5 時  
会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室〔所在地は前記参照〕  
議 題 (1) 係り受け関係に基づく文献の検索

高松 忍, 大塚和彦, 西田富士夫 (大阪府立大・工)

〔概要〕 係り受け構造を記述する検索言語への文献要約文の変換と標準化ならびに係り受け関係に基づく文献の検索.

(2) 企業名のカナ漢字変換システム 田中康仁 (日本ユニバック)

〔概要〕 企業名のカナ文字を 4 万件のカナ単語によって分かち書きに分解し, その個々の単語を 10 万件の企業名単語より抽出し, 同意語の処理を行い漢字の企業名に変換する. 同意語の処理は同意語を漢字ディスプレイに表示する, または OCR シートにプリントして選択を行う.

- (3) SNOBOL 4 処理系の移植経験 白浜律雄 (東工大・理)  
〔概要〕 文字列処理用言語 SNOBOL 4 の標準処理系を中型機 FACOM 230-45 S に移植した経験を述べる。

#### ◆ 第 15 回 医療情報処理研究会

(主査: 開原成允, 代表幹事: 吉本千禎, 飯坂譲二, 上野晴樹, 佐々木陽)

- 日 時 昭和 52 年 3 月 22 日 (火) 午後 2 時～5 時  
場 所 機械振興会館 6 階 65 号室〔所在地は前記参照〕  
議 題 (1) 画像処理の標準化について 尾上守夫 (東大・生研)  
〔概要〕 画像入出力方式についての標準化の問題や最近の米国の動向について。  
(2) コンピュータ断層シンチグラフィのデータ等の標準化・収集・交流について 竹中栄一 (東大・中放)  
〔概要〕 コンピュータ断層やその他の医学的画像の貴重な症例を標準化された方式で収集し, 交流することについて。  
(3) IAEA シンチグラフィ技術の国際相互比較 福守健一郎, 飯沼 武 (放医研)  
〔概要〕 IAEA を中心に行われた RI シンチグラフィの相互比較や RI 関係データの相互交流の最近の話題について。

### 52 年度会費納入のお願い

昭和 52 年度会費を請求いたしますので, 添付の振替用紙によりご納入ください。

正 会 員 費 7,200 円

学生会員費 3,000 円

申すまでもありませんが, 会費は前納を建て前とし, また郵便料その他の値上りによる会費徴収の諸経費を節約する上からも, 率先してご納入いただきたく存じます。

なお, 51 年度会費未納の方で, **2 月末まで**にご納入いただけない場合には, 3 月号から会誌の送付をストップいたしますので, 充分ご注意ください。

(付記) 52 年度新規入会は 3 月が最良の時期です。入会希望者は定型中封筒 (22cm×11.5 cm) に宛名明記, 50 円切手添付のうえ, 入会案内書および入会申込書を学会事務局へご請求ください。

### 第3回 Very Large Data Base に関する 国際会議の開催について

標記国際会議が情報処理学会の協賛で1977年10月に東京で開催される予定です（論文募集など詳細は本号203ページをご覧ください）。

本会議は巨大データベースの分野において研究の現状の認知と、今後の研究・開発の討議の場とすることを目的とします。データベースへの関心が内外において高まっている折柄、日本のすぐれた研究論文が数多く発表されることを期待します。

### 関西支部で「マイクロコンピュータ」講習会を開催

来る4月中旬に、「マイクロコンピュータ」に関する講習会を関西支部で開催する予定です。

会場は大阪大学基礎工学部情報工学科の講義室で期間は2日間を予定していますが、詳細は次号に会告いたします。